

株式会社テックビルケア

茶橋 昭夫



この映像・情報は 2019年12月 当時のものです

社会貢献への意識が 会社を更に輝かせる

—
建物設備の点検業務という、社会インフラを陰で支える仕事を行うテックビルケア。「安心安全な建物の維持は、安心安全な社会づくりに繋がる」という強固な意志を持つ賢者は、徐々に懐疑的な社員の心を掴み、一丸となって仕事に取り組む社会貢献企業へと成長させた。そしてそこには、青年時代からの一貫した哲学と、計算されたキャリア戦略が存在していたのである。賢者を支える哲学と、日々の取り組みに迫る。

SHARE



HISTORY

賢者ヒストリー

幼少期～学生時代

幼少期は大阪で地元の公立の小学校に通っていました。当時より父（現在の会長）は自宅兼事務所にて当社の前身である近畿クリーナー株式会社という清掃事業を営んでおりましたので、その背中を見ながら成長しました。中学・高校は親の勧めもあり、岐阜県の中高一貫の学校に入学しました。自分の身の回りのことは自分でやり、「自立心」というのが醸成された期間です。高校2年～高校3年の間は1年間ニュージーランドへ交換留学生として機会をもらい、海外から見た日本の姿など貴重な体験をした1年間でした。大学進学タイミングで大阪へ戻り、将来を見据えて工学部の道へ進みました。

社会人時代

大学卒業後は自分の興味があったIT系企業に就職します。大手企業の営業支援のソフトなどのプログラミング業務を行い、現在の私のパソコンの基礎知識が確立されました。その後、父の会社を引き継ぐべく将来を見据えて、エアコンのメンテナンス会社への出向や、防災設備専門の会社へ就職しました。ここでの経験は後のテックビルケアの主力事業の大きな影響を受けています。

社長就任のきっかけ

2019年4月に父を継いで社長に就任しました。きっかけとしては、これから伸ばしていく事業の先が見えてきたことや、経営が順調に成長して、安定化したこと、従業員の成長と共にワンチームの意識が高まってきたことです。経営者は会社のことを365日24時間考えるという父の背中を見てきたので「会社をこうしていきたい！」という思いは曲げず、妥協せず考え続ける姿勢が一番大切だと考えています。まずは私が社員を好きになること、その上で会社のことを好きになってもらえるように動いています。